

## はじめに

急速な少子高齢化による人口構成の変化や生活習慣の多様化に伴い、がん・生活習慣病の発症、患者数の増加や重症化が進み、特に死因別粗死亡率の年次推移では、悪性新生物（がん）による死亡率が高まってきております。

また、老人1人当たりの医療費や被保険者1人当たりの国民健康保険診療費はともに増加傾向にあり、このような社会負担の増加に対応するためには、がん・生活習慣病の発症予防・早期発見・重症化予防の推進を図る必要があります。

今回、県民一人ひとりの健康的な生活習慣の実践や住民主体の健康的な環境づくりを推進するため「健康ひろしま21（第2次）」が策定されました。

福山・府中二次保健医療圏域においても、『健康寿命の延伸』を目指して、『がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進』『健康づくりに継続的に取り組める社会環境の整備』『こころの健康の保持増進』の3つを重点課題にし、圏域で取り組むべき具体的な目標や目標値を設定しました。

また、圏域計画改定の趣旨や県・市町の他計画との関係などを明確にし、今後の取組の評価指標を加え、実施主体別アクションとして提示することにより、県、市町、医療機関や関係機関、団体等が協働して積極的な取組の推進を図ることをねらいとして、「健康ひろしま21（第2次）圏域計画」を冊子としてまとめました。

本圏域計画の策定及び冊子をまとめるに当たり、熱心に御審議いただいた福山・府中地域保健対策協議会の関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成25年3月

福山・府中地域保健対策協議会  
健康増進計画委員会  
委員長 森近 茂